

リスクアセスメント & 作業手順書

工事名称	2024年度 東海北陸自動車道 高山管内維持修繕業務		作成会社名	中日本ハイウェイ・メンテナンス名古屋㈱	
工期	令和6年4月1日 ~ 令和7年3月31日		作成者	鈴木 悠平	
作業名称	立入防止柵接続部取り換え(寒冷地用)	作業手順書	作成年月日	令和3年4月7日	
使用機械 使用設備 (具体的な名称・ クラスを記す)	2tトラック		改正年月日	令和4年8月10日	
使用工具、機器 材料等(具体的な 寸法を記す)	レンチ、スパナ、インパクトドライバー、パール、ニッパー、結束バンド、手鎌(利き手に応じたもの)		現場責任者		
			協力会社	会社名 -	
保護具	ヘルメット、手袋、保護メガネ、ハチ対策グッズ		作業順序	1	現地確認
	手袋(草刈り作業時は耐切削用、振動工具使用時は耐振動用)、チャップス(チェーンソー使用の場合)			2	準備作業
免許・資格等 (免)(技)(特)(準 特)の区別を記す	自動車運転免許証 振動工具 (振動工具、刈払機取扱作業者)		3	事前草刈り	
			4	狸返し撤去	
作業人員 (当作業に関わる役 割と人員を全て記 す)	作業責任者 1人、作業員 2人、保安員 1人		5	接続部品取替え	
作業手順 周知会 参加者 サイン (記録)	作業責任者(職長)	周知会実施日	令和2年12月1日	6	狸返し設置
	(役割を確認してこの作業に関わる 全員が自筆サインする)		合計	3名	7
				8	

リスクの見積り	重大性			組み合わせ	リスクの評価	優先度又は実施担当者
	○:軽微 休業4日未満	△:重症 休業4日以上	×:極めて重大 死亡・障害を伴う			
可能性	○:めったに発生しない (5年に1回程度)	○△	○×	○○	1:極めて小さい	関係者に対策の周知
	△:時々発生する (1年に1回程度)	△△	△×	○△、△△	2:かなり小さい	関係者に対策の指示
	×:かなり発生する (6ヶ月に1回程度)	×△	××	○×、△△、×△	3:中程度	職長が確認
				△×、×△	4:かなり大きい	工事担当責任者が確認
				××	5:極めて大きい	十分に訓練をした対策が必要

リスクレベル 5=十分に訓練をした対策が必要 4=工事担当責任者が確認 3=職長が確認 2=関係者に対策の指示 1=関係者に対策の周知

作業項目 (誰が)	手順 主なステップ	急所 作業のポイント	リスクの洗い出し (予想されるミス・ロス)	可能性	重大性	評価点	リスク レベル	ミス・ ロス	リスクの除去・低減のための 実施すべき事項の特定 (防止対策)
現地確認(全員)		健康状態の確認・免許・資格等の確認・光物(チョッキ・脚絆・ヘッドライト等)の充電確認・業務用プレートの確認、入場方法・入場箇所・車両順番・役割分担の確認・車両の始業前点検、工具の確認、積み込み荷の確認(落下・飛散対策)荷締め位置、荷台のネット・シート掛けの確認する。工事車両幕がロープ及び養生テープで確実に固定されていることを確認。 担当者は施工計画段階でNEXCOと打合せした内容を作業員へ周知・報告すること。 車両出入庫の際に、運転手は車両の周囲(上下含む)を指差し、障害物が無い事を確認のうえ、出入庫する。							
	作業箇所確認	危険ポイントの確認							
	周辺安全確認	構造物の確認							
準備作業(全員)									
	ミーティング	健康状態の確認 免許・資格等の確認							
	車両の点検・準備	車両の始業前点検、 工具の確認							
事前草刈り	支障のある草木がある場合は清掃前に除去	作業個所の確認を行い、必要に応じて草刈りを行う。責任者は作業員が作業に適した保護具を着用したか確認する。	手鎌や機械で手を切る	△	△	△△	3	安	草刈りを行う場合は耐切削用手袋を着用する。草刈り機・チェーンソーを使用する場合は有資格者による作業を行う。繁茂している箇所については鎌ではなく、草刈り機・チェーンソーを使用すること。
	道具の選定が現場と合わない場合は再度道具や施工方法を検討する								
既存狸返しの撤去(責任者、作業員)	ニッパーを使用し狸返しを撤去で撤去する。	飛散注意	切断時破片が目に入る。	△	△	△△	3	安	保護メガネを着用し作業する。
接続部の金具取替(責任者、作業員)	インパクトドライバー等を使用し、立入防止柵の支柱と胴線の接続部をはずす。	手元注意	接続部を取り外す際、胴線や支柱で手を挟む	△	△	△△	3	安	手袋を着用し、取り外しと部材を支える作業を別の人で行う。
	変形している接続部品を取り換える	手元注意							
	インパクトドライバー等を使用し、立入防止柵の支柱と胴線の接続部を固定する。	手元注意	締め付け時に指を挟む	△	△	△△	3	安	手袋を着用し作業する。
既存狸返しの撤去(責任者、作業員)	ニッパーを使用し狸返しを撤去で撤去する。	飛散注意	切断時破片が目に入る。	△	△	△△	3	安	保護メガネを着用し作業する。
後片付け(責任者、作業員)	清掃	破片、工具等が残っている							工事車両幕を取外した場合は専用のケースに確実に格納し車内に保管する事